

講義コード [3-1.]		開講区分	2 学年	前	後
森林・林業政策		タイプ・総コマ数	学科	8	コマ
		講師	林野庁職員、内部講師他		
目的	卒業を前に、就職後に役立つ森林・林業関係の施策・制度、仕事に就いてからの自己管理、スキルアップの手法を紹介する				
概要	1 国、府の森林・林業施策を学ぶ。 2 業務に関連する法令・制度、自己管理の手法等を学び、円滑な業務遂行の一助とする。 3 最近の森林・林業の動きを解説				
講義	テーマ	講義内容			
1	国における森林・林業政策	国の重点施策及び森林・林業基本政策			
2					
3	京都府の森林・林業施策	京都府の重点施策			
4	森林計画制度と保安林制度	卒業後に役立つ諸手続の知識① 普通林伐採届と保安林の許認可・届出について、手続き方法や書類作成の留意点を解説。			
5	森林整備事業(造林補助事業)について	卒業後に役立つ諸手続の知識② 森林整備事業(造林補助制度)の概要と仕組みの理解			
6	木材の流通・需要拡大施策 と 林業普及施策	卒業後に役立つ諸手続の知識③ ・木材関係事業の概要と申請について ・林業普及に関する資格と施策について			
7	森林境界明確化	森林施業の集約化に必要な森林境界明確化に役立つ知識			
8	森林・林業政策全般のふりかえり	本講義で学んだ内容についてふりかえり・意見交換			
評価方法	評価タイプ:A				
テキスト	必要な資料を配布します				
参考書					
備考					

講義コード [3-2]		開講区分	1 学年	前	後
林業経営 1		タイプ・総コマ数	学科	17	コマ
		講師	樋口義昭、柿迫正紀、伊東宏一、江口喜代志、井口和司他		
目的	林業経営の概要について学習の上、持続的な林業経営について学ぶ				
概要	林業経営の基本となる事項について学ぶとともに、実際に林業経営を行っている国有林や、森林組合、林業事業体等から現状と課題を学ぶ。				
講義	テーマ	講義内容			
1	林業経営の基礎	「経営」の概念と、様々な森林経営の業態を紹介し、公益的機能の維持と木材生産による「林業経営」のバランスを図った「森林経営」について、「林業白書」を基に解説する。			
2	森林組合の林業経営	森林組合法や森林組合の役割、森林組合の林業経営の実際を京丹波森林組合に学ぶ。			
3	集約的な林業経営(北山林業)について	北山林業の概要と現在の状況について学ぶ			
4					
5	林業経営と木材価格	素材生産、木材市場の経営に携わって来た講師から、木材価格と搬出・輸送コストの実際を聞き、林業経営の骨組みを学ぶ。			
6	林業経営(「林・材・建」一貫の取組)	林業家であり、素材生産業、製材から建築業まで経営する「伊東木材(株)、(株)いとう」の業務を紹介。林・材・建が連携することのメリットを学ぶ。			
7	個人林業家の林業経営	5代続く林業家である講師から、山を所有すること、施業をすること、林業研究グループの活動等について学ぶ			
8	森林整備センターの林業経営 確定申告と林業税制	森林整備センターで行う分収造林経営について学ぶ 確定申告の方法と林業経営に関係する税制について学ぶ			
9	企業(住友林業)の林業経営について	企業による林業経営の実際を、住友林業に学ぶ。			
10					
11	木材市場視察	木材市場の仕組みと役割を視察を通じて学ぶ。			
12					
13	林業経営と素材生産	サラリーマンを退職して素材生産業に飛び込んだ講師の半生を通じて、素材生産業の姿を学ぶ。			
14	先進地視察	「森林・林業白書」等で取り上げられる林業経営の先進地を視察する。			
15					
16					
17					
評価方法	評価タイプ:A				
テキスト	必要な資料を配布します				
参考書					
備考					

講義コード [3-3]		開講区分	2 学年	前	後
林 業 経 営 2		タイプ・総コマ数	学科	16	コマ
		講 師	速水享、内部講師 他		
目 的	模範的な林業経営を学び、これからの森林経営を考える参考にする。				
概 要	日本を代表する意欲的な林業経営を実践している速水林業や五條市森林組合に2泊3日の現地視察を行う。				
講義	テーマ	講義内容			
1	事前学習	現地視察を有意義なものにするため速水林業や奈良県の林業について特徴を調べ、視察の準備を行う。			
2					
3					
4					
5	現地視察(速水林業)	持続可能な林業経営について、先進的な取り組みをしている速水林業の大田賀山林を訪問し、林業経営全体を考えたコスト削減について学ぶ。			
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13	現地視察	森林作業道の作設によるコストダウンを進めている山林を訪問し、持続可能な林業経営について学ぶ。			
14					
15					
16					
評価方法	評価タイプ:B				
テキスト	必要な資料を配布します				
参考書					
備 考	事前学習の取り組み具合および視察後のレポートで評価。				

講義コード [3-4]		開講区分	2 学年 前	⑥
森林経営計画作成実習		タイプ・総コマ数	学科	38 コマ
		講師	湯浅勲、藤野正也、内部講師他	
目的	森林施業プランナーに必要なコスト分析について学び、森林経営計画作成の実務を学ぶ。			
概要	森林施業プランナーには様々な知識、能力が必要であり、森林施業の提案ができるようコストを把握し、改善のために分析が出来るよう基本を学ぶ。 また、森林GISの操作実習を通して、森林情報管理システムを活用した森林経営計画作成の実務を学ぶ。			
講義	テーマ	講義内容		
1	森林経営計画の概要	森林施業の集約化に必要な森林経営計画制度		
2	提案型集約化施業とコスト(基礎知識編)	コスト把握について概要を説明		
3,4	提案型集約化施業とコスト(林業編)	提案型集約化施業の基本的な流れとコスト管理方法		
5,6	事業量とコスト(予算管理)	事業量とコストの関係と把握方法		
7,8,9	コスト計算(1)	コスト構造 と 工程別単価		
10,11,12	コスト計算(2)	損益分岐点 と 林業税制		
13,14	作業システム、路網とコスト	様々な作業システム、路網とコストとの関係		
15	森林GISを活用した森林情報の把握	森林情報の把握と路網設計への森林GISの活用		
16,17	森林GISを活用した施業データ管理	森林情報把握及び施業データ管理への森林GISの活用		
18~34	森林経営計画作成実習	森林GIS操作実習 森林GISを活用した森林の把握、事前調査 森林経営計画作成に向けて現況調査、コスト計算等		
35	森林経営計画作成実習	森林経営計画作成に向けてプレゼン準備		
36				
37	作成した計画の発表、意見交換	作成した森林経営計画の発表、意見交換		
38				
評価方法	評価タイプ:B			
テキスト	必要な資料を配布します			
参考書				
備考				

講義コード [3-5]		開講区分	1 学年 前	⑥後
森 林 計 画 概 論		タイプ・総コマ数	学科	10 コマ
		講 師	美濃羽靖	
目 的	森林計画の概要及び森林計画に密接に関わる事項について学ぶ			
概 要	森林計画の中心課題は、伐採を計画的に行い森林資源を持続的に利用することとされてきたが、近年森林の公益的な機能が重視される時代となり、このような面も含め森林計画について学ぶ。			
講義	テーマ	講義内容		
1	森林計画学の構造	森林計画とは何かを理解する。		
2	森林計画と時空間スケール	森林計画が扱う時空間スケールについて理解する。		
3	森林計画と林業経営	森林計画と林業経営との関係についての基礎的事項を理解する。		
4				
5	持続的な森林管理と森林認証問題	持続的な森林管理と森林認証について理解する。		
6				
7	森林保全システム	森林を保全するためのゾーニングとモニタリング、森林計画の実際について理解する。		
8				
9	森林計画技術	GISやGPSについて理解する。		
10	試験			
評価方法	評価タイプ:A			
テキスト				
参考書				
備 考				

講義コード [3-6]		開講区分	1 学年 前	後
森 林 計 画 演 習		タイプ・総コマ数	学科	17 コマ
		講 師	内部講師	
目 的	森林計画に必要な知識及び技能を実習で学ぶ。			
概 要	森林計画を作成するに当たって必要な知識及び技能を実習を通じて学ぶ。			
講義	テーマ	講義内容		
1	森林計画作成に当たって必要な知識及び技能	森林計画を作成する際に必要な知識及び技能について説明する。		
2	森林の現況把握	森林計画図や航空写真を用いて、現地で人工林や既設の林道の現況を把握する方法等を学ぶ (植生、林相、傾斜度、地質、土質、河川、湧水、崩壊地、道路、簡易水道等)		
3				
4				
5				
6	周囲測量	林分の境界を見定め面積を知るため、トウルerpalsを用いた周囲測量の方法を学ぶ (周囲測量、図化)		
7				
8				
9				
10	立木調査	標準地法による立木調査の方法について学ぶ (樹高、胸高直径、樹冠長を測定し、本数密度、樹冠長率、形状比、相対幹距比、収量比数を算出)		
11				
12				
13				
14	内業	外業で得たデータをQGIS等を用いて整理し、森林施業への活用方法について学ぶ		
15				
16				
17				
評価方法	評価タイプ:B			
テキスト	必要な資料を配布します			
参考書				
備 考				

講義コード [3-7]		開講区分	2	学年	前	後
森林施業プランナー総論		タイプ・総コマ数	学科	12	コマ	
		講師	衣川和幸、芦田暢、足立亘他			
目的	林業大学校での講義をふり返り、森林施業プランナーに必要な知識を総復習する					
概要	森林施業プランナーテキスト改訂版により1年生の講義を復習する					
講義	テーマ	講義内容				
1	第1章:提案型集約化施業の意義	森林施業プランナーテキスト改訂版に基づき解説				
2	第2章:提案型集約化施業の進め方					
3	第3章:目標林系と林分診断					
4	第4章:育林技術					
5	第5章:路網開設					
6	第6章:作業システムと行程管理					
7	第7章:原価管理					
8	第8章:林業労働の安全対策					
9	第8章:林業労働の安全対策	リスクアセスメント				
10	第8章:林業労働の安全対策	リスクアセスメント				
11	第9章:コミュニケーション					
12	試験	過去の試験問題から模擬試験を実施				
評価方法	評価タイプ:A					
テキスト	森林施業プランナーテキスト改訂版は各自購入					
参考書						
備考						